

IGF 2025 第 2 回 MAG 会合議事内容メモ

開催日時： 2025 年 2 月 25 日（火） 23:00 - 24:12（日本時間）

開催形態： オンライン

参加者数： 62 名

日本からの出席者： 加藤（MAG メンバー）、河内（オブザーバー）

議題および議事内容

1. 開会と議事次第の承認

2. 開催ホスト国より準備状況の報告

- 前回会議で紹介してから特に大きなアップデートはない
- ハイレベルな政府関係者が参加することは、会議の注目度も上がり重要なことである一方、非公開の政府間会合を設定する意味があるかどうかは疑問がある。政府や政策立案者にとって重要な優先事項について議論する政府主導のセッションやネットワーキングセッションを設けることを招待状に記載している。

（意見）

- 「政府トラック」というようなセッションはクローズドである必要はなく、すべてのステークホルダーが参加し、できるだけ多くの政府関係者が参加することが重要ではないか。
- 現在の企画では、IGF2025 では「政府トラック」のようなものを設けてはいないが、例年に比べ、よりハイレベルな政府関係者を招待し、他のステークホルダーとの対話に重点を置いている。（事務局より）
- これまで参加していない、特にグローバルサウスや G20 の議長経験国などに参加してもらうべきではないか。

3. 事務局からの連絡事項

- 第 2 回公開諮問会議・MAG 会議（4 月 14 - 16 日）の登録受付開始
- Travel Support への申請件数 800 件、締め切りは 3/12

- 現在のセッション提案数：WS 23、Village booth 33、リモートハブ 9、ライトニングトーク 10 件、デイゼロイベント 4、オープンフォーラム 1。ただ、例年、締め切り前 48 時間以内の提出がほとんど。
- IGF2025 の会場となるリレストロムの会議場にセキュリティを含む視察に事務局他が訪問。

4. IGF Intersessional Work: Policy Networks, Best Practice Forums and Dynamic Coalitions

- Policy Network on AI：今年度の作業計画は、過去 2 年間に PNAI で実施した報告書や議論、ウェビナーなどに基づき、GDC への統合、2026 年以降の展望などについて検討し、報告書を作成する予定。
- Policy Network on Meaningful Access：これまで蓄積してきた知識を実証し、できるだけ多くの人にその内容を伝え、実行に移すことを検討。
- Policy Network on Internet Fragmentation：まだ今年の活動は開始していない。
- BPF：まず、新しいテーマにするか、これまでのテーマを再度検討するかを決定し、6 月の IGF2025 までに初期のスコープ設定ができるといいと考えている。ただ、IGF 年次会合が終わった後、その後の活動結果はどのように 2025 年末にまとめるのか。また、PNIF と内容が重複していると感じているメンバーが多いので、PNIF と協力して活動を進めていきたい。
- DCs：今年の 4 つのサブテーマごとに DCs をグループ分けしたところ、ほぼ均等に 4 つに分かれたので、サブテーマごとにセッション行う予定。DCs の活動成果をライトニングトークや Village booth を活用してはどうかという案についても、検討中。

5. Updates from the IGF MAG Working Groups

- WG on Strategy：今年の下記実施項目について、それぞれを担当するボランティアを募り、小グループで作業を開始。
 - 1 IGF の使命を強化する文書を作成
 - 2 ジュネーブで開催される WSIS +20 ハイレベルイベントに向けたパネル提出文書の草案作成。3/14 提出締切。
 - 3 国連およびその他の国連機関でデジタルおよび新興技術の開発を担当する ODET との対話型ウェビナーの開催で、GDC のパラグラフ 71 の実施につい

て議論。

- 4 NetMundial+10 サンパウロマルチステークホルダーガイドラインの実施に関するウェビナーの開催
- 5 政府の関与を促進するための行動を検討すること
- 6 国連総会議長に宛てたハイレベルなマルチステークホルダー声明の草案作成。WSIS+20 レビューに向けての IGF の重要性を強調するもの。

- WG on Youth engagement：セッションの提案文書の書き方に関するワークショップを2/26に開催予定。

6. Workshop evaluation process

(セッションについての意見交換)

- WG on WS Process：先週会合を開催、WS 評価プロセス（スケジュール、評価の段階）について再検討した。
- 各評価基準にはそれぞれ5段階のレベルがあるが、最低基準を満たしていないという明確な判断を下せるように、真ん中の3は最低基準を満たさず、満たさないものは2か1、満たして上回る場合は4や5とするようにした。また、ワークショップで観客の議論を生み出す可能性のある多様性が重要であると昨年議論があったので、それをワークショップの評価基準に含めた。

(意見)

- 毎年同じ人ばかりでなく違う人によるセッションのほうがいいのではないか
- 同じような内容の提案を一つにまとめてはどうか⇒これまで何度もそのような提案があったが、実際に統合するのは難しいという結論に至っている。
- 評価方法について、MAGによる評価が始まる前に別途会合を開催してはどうか。

7. Any other Business

- 次回 MAG Virtual Meeting は3/11でなく3/18に変更
- IGFの20周年記念で何か特別な企画はないのか？（ホスト国より特に返答なし）

以上